



木幡地区公民館  
位置図と

面積  
29平方キロメートル

44

◇  
《米の種類》  
政府から数量限定の指示  
もつて生産され、農  
産物検査官に検査されて等  
級を受けた。政府米、自主  
流通米。それと、政府指定  
量を超えた生産農家の米が  
二等級の検印が押され  
整粒Ⅱ成熟した粒が多  
死米、粉状着色の粒、着  
Ⅰ粒面着色した粒が  
ものである。容積量ほど  
トルの重が重いほど  
が高くなります。  
②銘柄 地域や気候

木を見直そう

に一または三の等級がつけられている。  
なお、標準価格は主に三類の一・二等が中心。  
《政府米の切替（入期）》  
一般的に、政府米は小売店で十一月から売られます。売却率は十一月、十二月で  
政府米のうち、標準価格は三万のうちは、消費者に必要の三万十分しかかからない、全国から買入収入

のほど、京都府（南部）「所定内賃金」であり、精手当、時間外手当、休日手当  
 特定産業に働く労働者に適・皆勤手当、通勤手当、家族などは賃金に算入されません。適用されます。

| 最低賃金の件名                              | 最低賃金額 |     |      | 効力発生年月日  |
|--------------------------------------|-------|-----|------|----------|
|                                      | 日額    | 時間額 | 適用区分 |          |
| 食料品製造業                               | 5,140 | 360 | 1    | 56.2月上旬  |
| 繊維産業<br>(めん糸製造業・金銀糸製<br>造業・加硫製造業を除く) | 5,046 | 360 | 1    | ◇        |
| 木材・木製品・家具・<br>装備品製造業                 | 5,315 | 410 | 1    | ◇        |
| バルブ・紙・紙加<br>工品製造業                    | 5,240 | 400 | 1    | ◇        |
|                                      | 5,360 | 410 | 2    | ◇        |
| 出版・印刷・同関連産業                          | 5,220 | 400 | 1    | ◇        |
| 窯業・土石製品製造業                           | 5,315 | 410 | 1    | ◇        |
| 機械・金属製品等<br>製造業及び<br>自動車整備業          | 5,333 | 410 | 1    | ◇        |
|                                      | 5,420 | 410 | 2    | ◇        |
| 卸売業・小売業                              | 5,320 | 410 | 1    | ◇        |
| 京都府最低賃金                              | 5,035 | 360 | 1    | 55.10.20 |

市では、商店街や小売市場  
円、設備資金では融資期間  
取組む共司の事業に、資  
年以内で限度額五百万円と

の部として低利で融資する新制度を昨年十一月からスタートさせました。この制度、宇治市内の商店街や小売場の振興をはかり、環境の備をすすめるために設けられたものです。

宇治市教育委員会の時は、すでに旧虎造第二十号校跡に移転、

宇治市内の最高齢者であつ

四）は、きつる一月二十七日午後八時五十分、直腸ガンのため死去されました。五十樓さんは明治十四年十二月三十日生まれて、満九十九歳。ここに謹んでこいし福をお祈り申し上げます。

なお、市内の最高齢者は、太田トキさん（免通東集上り三六〇三、九十七歳）となりました。

## A black and white line drawing of a traditional Japanese bridge over a river. The bridge is a simple wooden structure with a railing. A person is standing on the bridge, looking down at a small boat on the water below. The boat has two people in it, one of whom is rowing. The water is represented by simple wavy lines. The drawing is done in a minimalist, sketchy style.

むかし、宇治川の中には梅島という島がありました。その場所は、院の御所山のふもとで白川浜のすこし下流の方です。今では水面の上に出ていませんが、そこには大きな岩があり、川べりからよく見ることができます。

古くは、その岩の上を土がとおつていて、梅や柳の木がはえていたと伝えられています。梅島の名からも、立派な梅の木があったことがしのべられますね。「天神さま」として建てられ、宇治の農民たちは日照りがつづいて水不足になると、梅島に渡つて雨ごいの祈りをしたそうです。人々々のあいだで、この島の下にはりゅう宮につづく岩穴があり、穴の底からわき出る清水は、そのまます治橋の三ノ間の下へ流れてくるのだと言われるようになりました。

こうした言い伝えから、やがて三ノ間での水は、りゅう宮からわき出した水だと信じられ、遠くからわざわざ水

ふるさとむかし話

てまつらわっている菅原道真が、宇治川を舟で渡ったとき、この島に舟を寄せて、美しい梅の花をながめたということである。

また、道真は梅島にあがって、七日のあいだ神に祈り、学問の上達を願ったともいわれている。そのとき、英道稚郎子の霊があらわれて、道真に文章や書道を教えるというふしぎがあったのだそうである。

いつのころからか、梅島には「天神さま」をまつるお社がある。

をくみに来て、茶の湯に使われるようになりました。豊臣秀吉が宇治橋の橋守り通門に三ノ間の水をくませたというお話は、みなさんも聞いたことがあるでしょう。

ところで、梅島は江戸時代の中ごろに起こった洪水の被害に、流れてしまったといわれています。島の土台になっていた大きな岩だけが、川の底に残って、そのなごりをとどめています。

（市史編さん室）



